

# 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第7期) 策定のためのアンケート調査

## 調査についてお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、平成 29 年度に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第 7 期)」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、平成 28 年 10 月 1 日現在、府中市にお住まいの 40 歳以上の市民の皆さまの中から 3,600 名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 28 年 10 月 府中市

### 《記入にあたってのお願い》

1. 封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。
2. あて名ご本人おひとりでの回答が難しい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いた上で代わりに記入してください。
3. 回答にあたっては、該当するものの番号を で囲むもの、具体的に記入いただくものがありますので、質問文に従ってご回答ください。
4. ご記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れ、

**月 日 ( ) までに** 郵便ポストに投函してください。

5. 調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

本調査について、ご不明な点・ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

### 調査についてのお問い合わせ先

府中市福祉保健部高齢者支援課 係  
☎ 042-335- (直通)

## 【調査票のご記入に先立ちまして、おたずねします】

以下の質問で、「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。お間違えのないように教えてください。

アンケート調査票のお受け取り時点で、市外に転出されている方は回答不要です。

この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに )

1. あて名ご本人	2. ご家族	3. その他(具体的に: )
-----------	--------	----------------

## 【あなた(あて名の方)についておたずねします】

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つに )

1. 男性	2. 女性
-------	-------


F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つに )

平成 28 年 9 月 1 日現在の年齢でお答えください。

1. 40～49 歳	4. 65～69 歳	7. 80～84 歳	10. 95 歳以上
2. 50～59 歳	5. 70～74 歳	8. 85～89 歳	
3. 60～64 歳	6. 75～79 歳	9. 90～94 歳	

F 3 あなたは、現在どなたと一緒に住んでいますか。(いくつでも )

1. ひとり暮らし(自分のみ)	2. 配偶者
	3. 息子・娘
	4. 息子・娘の配偶者
	5. 親
	6. 孫・ひ孫
	7. あなたや配偶者の兄弟姉妹
	8. その他(具体的に: )

同居している場合は、同居している方すべてに 

(F 3 で「2」～「8」のいずれかに をつけた方におたずねします)

F 3-1 同居の方は、皆さん 65 歳以上ですか。(1つに )

1. はい	2. いいえ
-------	--------

F 4 日中、あなたはひとりであることが多いですか。(1つに )

1. ひとりであることが多い	2. ひとりであることは少ない
----------------	-----------------

調査 市民一般調査票(案)

F 5 あなたが、一番よく行き来する方(親族や友人・知人など)の所へ行く(もしくは行き来する方が来る)ためにかかる時間はどのくらいですか。時間は、普段行き来する方法でお答えください。(1つに )

1. となり	4. 30～45分未満	7. いない
2. 15分未満	5. 45分～1時間未満	
3. 15～30分未満	6. 1時間以上	

F 6 あなたがお住まいの町名に該当する地区名をお答えください。(1つに )

1. 第1地区	多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台1～3丁目、若松町、浅間町、緑町
2. 第2地区	白糸台4～6丁目、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政
3. 第3地区	天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町
4. 第4地区	宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、宮西町、片町
5. 第5地区	日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町1～2丁目、本宿町3～4丁目、西府町3～4丁目、東芝町
6. 第6地区	美好町3丁目、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町1～2丁目、西府町1～2、5丁目
7. その他	上記以外

**【あなたのお住まいについておたずねします】**

問 1 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに )

1. 持ち家の一戸建て	6. 高齢者向け住宅(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅)
2. 持ち家の集合住宅	
3. 民間賃貸の一戸建て	7. その他
4. 民間賃貸の集合住宅	( )
5. 公的賃貸住宅(都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど)	

問 2 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありますか。(いくつでも )

1. 玄関回りの段差	9. 鉄道やバスの利用が不便
2. 廊下や居室などの段差	10. 家賃が高い
3. 屋内の階段	11. 家族が近くにいない
4. 浴室や浴槽	12. 立ち退きを求められている
5. エレベーターがない	13. 引越し先がない(高齢のため拒否されるなど)
6. 買い物をする場所が近くにない	14. その他
7. 家の周りに階段や坂が多い	(具体的に: )
8. 家の周りの道に歩道がない、狭い	15. 特にない

### 【就労状況についておたずねします】

問3 現在収入のある仕事についていますか。(1つに )

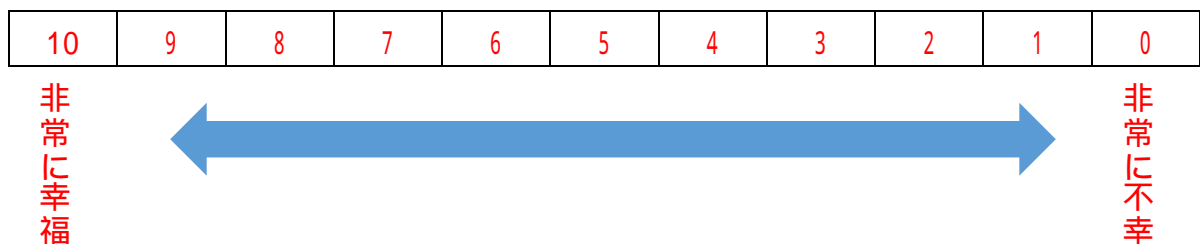
- 1. 仕事についている
- 2. 仕事をしたいが、体の具合が悪いので働いていない
- 3. 仕事をしたいが、仕事がないので働いていない
- 4. 仕事をする意思がないので、働いていない
- 5. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問4 現在及び今後(65歳未満の方は65歳以上になった際)どのようなかたちで働きたいと考えていますか。(1つに )

- 1. 自分の知識や技能を生かして、収入の多い仕事をしたい
- 2. 自分の知識や技能を生かした仕事ができれば、収入は少なくてもよい
- 3. 自分の知識や技能を生かした仕事ができれば、収入はなくてもよい
- 4. 地域に貢献できる仕事ができれば、収入は少なくてもよい
- 5. 地域に貢献できる仕事があれば、収入はなくてもよい
- 6. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

### 【健康づくりや介護予防などについておたずねします】

問5 あなたは、現在どの程度幸福だと感じていますか。「非常に幸福」を10、「非常に不幸」を0とした場合、あなたはどれぐらいになると思いますか。最も近いものをお選びください。(1つに )



問6 あなたの現在の健康状態について、最も近いものをお選びください。(1つに )

- 1. とても健康である
- 2. まあまあ健康である
- 3. あまり健康でない
- 4. 健康でない

問7 あなたは、この1年に健康診断を受けましたか。（1つに ）

1. 受けた	2. 受けていない
--------	-----------

問8 あなたは、健康診断についてどのようにお考えですか。（いくつでも ）

1. 積極的に受けたい	6. 身体の悪い点を指摘されるのは嫌である
2. 病気の発見に有効である	7. 費用が高い
3. 健康なので健康診断は必要ない	8. 時間がかかる
4. 医者にかかっているので必要ない	9. その他( )
5. 事前の飲食制限が負担である	

問9 あなたは、日ごろどのくらい外出されていますか。主たる目的別にそれぞれお答えください。（それぞれ1つに ）

	1 ほぼ毎日	2 程度 1日おき	3 おき 2、3日 程度	4 程度 週に1日	5 日程度 1か月に1	6 い外出しな
仕事	1	2	3	4	5	6
買物	1	2	3	4	5	6
趣味活動	1	2	3	4	5	6
体操	1	2	3	4	5	6
友人・知人とのおしゃべり	1	2	3	4	5	6
ボランティア活動	1	2	3	4	5	6
通院やりハビリ	1	2	3	4	5	6
その他( )	1	2	3	4	5	6

問10 現在の医療機関の受診状況についておたずねします。あなたは、現在治療中の病気はありますか。（1つに ）

1. ある	2. ない
-------	-------

問11 あなたには、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」がいますか。（それぞれ1つに ）

	いる	いない	わからない
かかりつけ医	1	2	3
かかりつけ歯科医	1	2	3
かかりつけ薬局	1	2	3

問 12～13 は 65 歳以上の方がお答えください。65 歳未満の方は問 14 へお進みください。

問 12 あなたの介護予防に対するお考えをお答えください。（1つに ）

1. 意識して取り組んでいる	5. 興味はあるが、具体的な取り組み方が
2. 体力が落ちてきたら取り組みたい	わからない
3. もう少し歳をとってから取り組みたい	6. その他（ ）
4. きっかけがあれば取り組みたい	7. 興味・関心がない

問 13 府中市では、いつまでも元気で暮らせるための介護予防事業を行っています。以下の ～ のサービスそれぞれについての「利用状況」と「利用意向」に1つずつ をつけてください。

サービス名	利用状況				利用意向		
	利用している	利用したことがある	知っているが利用していない	知らない	利用したい	利用したくない	わからない
ふちゅう元気アップ体操	1	2	3	4	1	2	3
短期集中3回教室	1	2	3	4	1	2	3
介護予防推進センターでの介護予防教室	1	2	3	4	1	2	3
介護予防講座（運動、栄養、脳トレーニング）	1	2	3	4	1	2	3
体力測定会	1	2	3	4	1	2	3
介護予防相談	1	2	3	4	1	2	3
地域デイサービス（ほっとサロン）	1	2	3	4	1	2	3

介護予防推進センターは、分梅町にあるいきいきプラザにあって、介護予防事業を行っています。

（問 13 で介護予防事業を1つでも「1. 利用している」「2. 利用したことがある」とお答えの方におたずねします）

問 13-1 介護予防に取り組んだ結果、具体的な成果がありましたか。（いくつでも ）

1. 通院回数が減った	5. 他の人と交流でき、外出の回数が増えた
2. 薬を飲む量が減った	6. 介護予防に積極的に取り組むようになった
3. 体力が向上した	7. 具体的な成果はなかった
4. 気持ちが前向きになり生活にはりがでた	8. その他（具体的に： ）

（問 13（ を除く）で介護予防事業を1つでも「2. 利用したことがある」とお答えの方に  
おたずねします）

問 13-2 利用終了後は、どのようにされていますか。（1つに ）

1. できる範囲で運動などを継続している
2. 卒業した人たちと一緒に継続している
3. 特に何もしていない

（ここからは、すべての方がお答えください）

問 14 あなたは、普段から健康や介護予防のために気をつけていることがありますか。（いくつでも ）

1. 栄養バランスやかむ回数に気をつけて食事をしている
2. 口の中を清潔にしている（歯磨き、うがいなど）
3. ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている
4. 規則的な生活を心がけている（夜更かしをしないなど）
5. たばこをやめた、または本数を減らしている
6. 飲酒回数や飲酒量を減らしている
7. パズルや計算作業など、脳のトレーニングに取り組んでいる
8. 定期的に健康診断を受けている
9. かかりつけ医（主治医）に定期的に診てもらっている
10. 気持ちをできるかぎり明るく保つ
11. 休養や睡眠を十分にとっている
12. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
13. 特にない

問 15 今後の府中市の介護予防施策に望むのはどのようなことですか。（いくつでも ）

1. さまざまな介護予防事業を継続的に実施する
2. 誰でも気軽に参加しやすいように介護予防事業の内容を改善する
3. 身近な場所での住民が**中心となった**通いの場の取り組みを推進する
4. **隣近所**の住民による声かけや誘い合いを促進する
5. 自分の介護予防の効果を一目で見られる情報を提供する
6. 全国の最新の取り組みを知らせる情報を提供する
7. 介護予防は効果がないので必要ない
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
9. 特にない

問 16 あなたは、身近な場所で住民が中心となって介護予防活動に取り組むためには、何が重要だと思いますか。（いくつでも）

1. 会場の確保	5. 活動する仲間
2. 経費の補助	6. 送迎
3. 介護予防の知識と技術	7. その他（具体的に：_____）
4. リーダー役となる住民	8. わからない

**【生活習慣についておたずねします】**

問 17 あなたの普段の朝・昼・夜の食事は、自炊・手料理、中食、外食のどれになることが多いですか。（それぞれ1つに）

	1. 自炊・手料理	2. 中食	3. 外食
朝	1	2	3
昼	1	2	3
夜	1	2	3

家庭外で調理されたものを、購入もしくは配達等によって、家庭内で食べる食事形態（テイクアウト）を指します。出前や宅配などのデリバリー、コンビニ、スーパー、デパ地下などの小売店で購入し、そのまま又は電子レンジ加熱や、お湯を注ぐだけで食べられる食事（カップラーメン、冷凍食品等）を含みます。

問 18 あなたは、食生活を改善するために必要なことは何だと思いますか。（いくつでも）

1. 食生活改善のための知識
2. 家族の協力・助け（食事を作るなど）
3. 楽しみながら取り組めること
4. 結果が出ること
5. 栄養に配慮した食事をつくる技術・コツ
6. 管理栄養士など専門家のアドバイス
7. 短時間で調理ができること
8. 一緒に取り組む仲間
9. 適切な情報が得られること
10. 栄養に配慮した食事を提供してくれる店があること
11. テレビ番組や広告などでの過度の刺激や誘惑がなくなること
12. その他（具体的に：_____）
13. わからない



問 19 あなたは、運動習慣を改善するために必要なことは何だと思いますか。（いくつかつでも）

- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 楽しみながら取り組めること  | 8. スポーツ指導員など専門家のアドバイス    |
| 2. 結果が出ること        | 9. 運動などの技術               |
| 3. 体を動かしたり、運動する場所 | 10. スポーツクラブに通うための経済的なゆとり |
| 4. 体づくりや運動に関する知識  | 11. その他（ ）               |
| 5. 簡単にできること       | 12. わからない                |
| 6. 家族の協力・助け       |                          |
| 7. 一緒に取り組む仲間      |                          |

問 20 あなたは、こころの健康づくりのために必要なことは何だと思いますか。（いくつかつでも）

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 個人が悩みやストレスをためないような工夫            |
| 2. 学校や職場におけるこころの健康づくりの推進           |
| 3. 地域でのスポーツ、趣味のサークルなどのストレス発散の場への参加 |
| 4. 地域での心の健康相談などが気軽にできる場の充実         |
| 5. かかりつけ医のこころの健康づくりに対する知識や診療能力の向上  |
| 6. こころの健康に対する正しい情報の提供              |
| 7. うつ予防や自殺防止に関する普及啓発               |
| 8. 学校や職場などで心の健康づくりのアドバイスを行える人材育成   |
| 9. その他（具体的に： ）                     |
| 10. わからない                          |

### 【認知症についておたずねします】

問 21 国の推計では 65 歳以上の方の約 4 人に 1 人が「認知症」または「認知症予備群」といわれていますが、あなたはこの認知症について、どのようなことをご存知ですか。（いくつかつでも）

- |  |
|--|
| 1. 認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること                           |
| 2. 認知症の症状には、記憶障害や時間・場所がわからなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること |
| 3. 認知症の抑制には、食生活や生活習慣などで改善の効果があると認められていること                      |
| 4. 認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること                          |
| 5. 認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること                            |
| 6. どれも知らなかった   |

調査 市民一般調査票（案）

問 22 府中市では、次のような認知症予防の啓発活動を実施しています。あなたの参加状況や参加意向について ・ それぞれ1つに をつけてください。

	参加したことがある	現在参加している	知っているが参加したことがない	知らない	参加したくない
認知症サポーターささえ隊養成講座	1	2	3	4	5
認知症に関する講演会やシンポジウム	1	2	3	4	5

問 23 あなたは、認知症になっても、住み慣れた家で暮らし続けたいと思いますか。  
（1つに ）

1. どうしても住み慣れた家で暮らし続けたい
2. できることならば住み慣れた家で暮らし続けたい
3. 適切な施設があれば入所したい
4. わからない

問 24 あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送れるためには何が  
必要だとお考えですか。（いくつでも ）

1. 認知症についての啓発活動の充実
2. 認知症の相談窓口や相談体制の整備
3. 地域による見守りや支援体制の充実
4. 認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実
5. 認知症対応型通所介護（認知症高齢者が施設に通い本人にあった活動に参加する）・ショートステイなどの整備
6. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）などの専門的な施設の整備
7. 特別養護老人ホームなどの整備
8. 認知症ケアに関する専門職の育成
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**【地域生活と日ごろの活動についておたずねします】**

問 25 日ごろ隣近所の人と、どの程度おつきあいをしていますか。（1つに ）

1. 個人的なことを相談し合える人がいる
  2. さしさわりのないことなら話せる相手がいる
  3. 道で会えばあいさつをする程度の人ならいる
  4. ほとんど近所づきあいをしない
- }（ 「1」「2」の方は問 26 へ進む ）

(問 25 で「3」又は「4」とお答えの方におたずねします)

問 25-1 その理由を次の中からお答え下さい。(いくつでも○)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 仕事や家事で忙しく時間がないから | 5. 気の合う人・話の合う人が近くにいな |
| 2. 引っ越してきて間もないから    | いから                  |
| 3. ふだんつきあう機会がないから   | 6. あまり関わりを持ちたくないから   |
| 4. 同世代の人が近くにいないから   | 7. その他(具体的に: )       |

問 26 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにどんな手助けをしてほしいですか。(3つまでに )

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 安否確認など             | 7. 外出の付添い        |
| 2. 趣味など世間話の相手         | 8. 災害時の手助け       |
| 3. 介護などの相談相手          | 9. ゴミ出し・雨戸の開け閉め  |
| 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事      | 10. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 5. ちょっとした買い物          | 11. その他(具体的に: )  |
| 6. 子どもや介護が必要な家族などの預かり | 12. 特にない         |

問 27 (高齢者のみならず)隣近所の住民が安心して暮らすことができるよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(3つまでに )

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 安否確認など             | 7. 外出の付添い        |
| 2. 趣味など世間話の相手         | 8. 災害時の手助け       |
| 3. 介護などの相談相手          | 9. ゴミ出し・雨戸の開け閉め  |
| 4. 炊事・洗濯・掃除などの家事      | 10. 電球交換や簡単な大工仕事 |
| 5. ちょっとした買い物          | 11. その他(具体的に: )  |
| 6. 子どもや介護が必要な家族などの預かり | 12. 特にない         |

問 28 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。(1つに )

- |             |               |              |
|-------------|---------------|--------------|
| 1. 参加している   | 3. どちらともいえない  | } (問 29 へ進む) |
| 2. 時々参加している | 4. あまり参加していない |              |
| 5. 参加していない  |               |              |

(問 28 で「1」又は「2」とお答えの方におたずねします)

問 28-1 どのような活動や行事に参加していますか。(いくつでも )

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 町内会、自治会などの活動 | 5. 地域でのボランティア活動         |
| 2. 子ども会やPTAの活動  | 6. 防災訓練や交通安全運動          |
| 3. 老人クラブの活動     | 7. お祭りや運動会などのレクリエーション活動 |
| 4. 婦人会の活動       | 8. その他(具体的に: )          |

問 29 あなたが、これから参加したい活動はどのようなものですか。(いくつでも )

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 自分の楽しみが得られる活動     | 7. 隣近所の人と協力しあえる活動      |
| 2. 興味ある知識や教養が得られる活動  | 8. 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動  |
| 3. 自分の知識や経験をいかせる活動   | 9. 地域や社会に役立つ活動         |
| 4. 生きがいや健康づくりができる活動  | 10. 行政への協力や地域自治にかかわる活動 |
| 5. 余暇時間を充実させる活動      | 11. その他(具体的に: )        |
| 6. 仲間づくりや親しい友人ができる活動 | 12. 特にない               |

### 【災害時の対応についておたずねします】

問 30 災害時に安否確認をし、避難を助けたり、避難状況を確認するために、市役所、消防署、警察署や町内会・自治会へ、あなたの住所・氏名・連絡先などの個人情報を事前に知らせておくことについて、どう思いますか。(1つに )

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 名前や住所、連絡先などの最低限の情報は知らせてもよい         |
| 2. 最低限の情報に加え、健康状態や家族の状況に関する情報を知らせてもよい |
| 3. いずれの情報も知らせたくない                     |
| 4. わからない                              |

問 31 あなたが、災害に備えて市民や企業などが行政と協働で取組むとよいと思うものはどのようなことですか。(いくつでも )

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. <b>隣近所</b> の住民どうしの声かけや安否確認       |
| 2. 住民たちで行う防災組織の活動の充実                |
| 3. 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実                |
| 4. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成            |
| 5. <b>隣近所</b> の住民を対象とした防災講習会・学習会の開催 |
| 6. 小・中学校の防災教育・訓練の充実                 |
| 7. 地域内外の団体などとの日ごろからの交流              |
| 8. 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など            |
| 9. その他(具体的に: )                      |

問 32 災害時、地域の方の手助けが必要な方に、あなたができることは、どのようなことですか。(いくつでも )

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. 避難所での支援活動     | 5. 水や食糧の提供     |
| 2. 手助けの必要な方への声掛け | 6. 特にできることはない  |
| 3. 子どものいる家族への手助け | 7. その他(具体的に: ) |
| 4. けが人の手当て       |                |

【情報についておたずねします】

問 33 あなたは、健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動などに関する情報をどこから（誰から）入手していますか。（いくつでも）

1. 市の広報紙・ホームページ	10. 民生委員・児童委員
2. 市の相談窓口	11. 家族や親族
3. 地域包括支援センター <sup>1</sup>	12. 友人・知人、近隣の人
4. 保健所・保健センター	13. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
5. 社会福祉協議会 <sup>2</sup>	14. 講演会・講習会等
6. 介護予防推進センター <sup>3</sup>	15. インターネット、SNS <sup>5</sup>
7. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など	16. その他
8. ホームヘルパー（訪問介護員）	（具体的に：_____）
9. ケアマネジャー（介護支援専門員） <sup>4</sup>	17. 特になし

- 1: 地域で暮らす高齢者の方を、介護・福祉・健康・医療など、様々な面から総合的に支援するセンターで、府中市内に11箇所あります（泉苑、よつや苑、あさひ苑、安立苑、しみずがおか、かたまち、しんまち、緑苑、にしふ、これまさ、みなみ町）。
- 2: 社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織であり、地域住民、民生委員・児童委員、社会福祉施設・社会福祉法人等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざしたさまざまな活動行っています。
- 3: 介護予防を推進・普及し、その継続を支援することで高齢者の日常生活を支えることを目的とした施設です。
- 4: 要介護者や要支援者の人の相談や心身の状況に応じるとともに、サービス（訪問介護、デイサービスなど）を受けられるようにケアプラン（介護サービス等の提供についての計画）の作成や市町村・サービス事業者・施設等との連絡調整を行う者です。
- 5: インターネットでの社会的ネットワークのことで、フェイスブックやツイッターなどがあります。

問 34 あなたは、暮らしの問題や福祉などについて困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも）

1. 市の相談窓口	8. 民生委員・児童委員
2. 地域包括支援センター	9. 家族や親族
3. 保健所・保健センター	10. 友人・知人、近隣の人
4. 社会福祉協議会	11. その他
5. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など	（具体的に：_____）
6. ホームヘルパー（訪問介護員）	12. 相談できる人がいない
7. ケアマネジャー（介護支援専門員）	

【高齢者保健福祉サービスについておたずねします】

問 35 は 65 歳以上の方がお答えください。それ以外の方は問 36 へお進みください。

問 35 市では介護保険以外にも様々な保健福祉サービスを行っています。以下の  
～ の各サービスの利用状況、今後の利用意向についておたずねします。

（サービスごとに「利用状況」「利用意向」に1つずつ）

サービス名	サービスの内容	利用状況				利用意向		
		利用している	ある利用したことが	用知っていないが利	知らない	利用したい	利用したくない	わからない
訪問食事サービス	ひとり暮らし等の人に、調理した食事を自宅に届けて安否確認等を行う	1	2	3	4	1	2	3
自立支援ショートステイ	1回の利用につき7日を上限に養護老人ホームに滞在し健康管理や食事提供などを行う	1	2	3	4	1	2	3
高齢者医療ショートステイ	月7日を上限に市内の医療機関に入院し健康管理や食事提供などを行う	1	2	3	4	1	2	3
日常生活用具給付とレンタル	一時的に身体機能が低下している方に用具などを貸与又は給付する	1	2	3	4	1	2	3
はいかい高齢者探索サービス	はいかい探索システムを用い、行方不明時に早急に居場所を発見し、事故を防止する	1	2	3	4	1	2	3
日常生活用品（おむつ）の助成	おむつが必要な方が布又は紙おむつのどちらかを自宅で受け取れる	1	2	3	4	1	2	3
車いす福祉タクシー	リフト付タクシーによる通院を年間 24 回を限度に利用できる	1	2	3	4	1	2	3
寝具乾燥サービス	月1回、寝具を自宅まで受け取りに行き、その日のうちに乾燥して返す	1	2	3	4	1	2	3
訪問理髪サービス	自宅に月 1 回理容師が訪問して理髪が受けられる	1	2	3	4	1	2	3

（注）サービスの利用に際しては、利用条件のあるものもあります。

(ここからは、すべての方がお答えください)

問 36 今後、市が取り組む高齢者保健福祉サービスとして、次のうちどれを優先して充実すべきとお考えですか。(3つまでに )

1. 生きがいづくりを推進すること(ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)
2. 高齢者が働く場所を確保すること
3. 世代間の交流・相互理解を促進すること
4. 介護予防サービスを充実すること
5. 訪問介護やデイサービスなど介護保険居宅サービスを充実させること
6. 特別養護老人ホームや老人保健施設など施設サービスを充実させること
7. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向けの住宅を整備すること
8. 住宅改修を支援すること
9. 認知症など病気や障害を持つ高齢者への対策を充実すること
10. 家族介護者への支援制度を充実すること
11. 健康教育、健康相談、健康診査などの保健事業や医療体制を充実させること
12. 健康づくりを推進すること(健康教室の開催・スポーツ活動の促進など)
13. 保健・福祉関係の相談を受ける窓口を充実させること
14. 保健・福祉サービスに関する人材を育成すること(保健師、介護職員など)
15. ボランティアの育成、NPOの支援など民間活動を支援すること
16. 道路の段差解消や公共的な建物へのエレベーターの設置など、高齢者にやさしいまちづくりを推進すること
17. その他(具体的に: )
18. 特にない

### 【介護保険についておたずねします】

問 37 介護保険サービスの利用について、あなたの考えに近いものをお選びください。(1つに )

1. 介護保険料を支払っているので、積極的に利用する
2. 自分の望む生活(自立した生活)を送ることができる、最低限のサービス利用にする
3. 家族の要望やケアマネジャーの計画どおりに利用する
4. なるべく使わないようにする
5. わからない
6. その他( )

問 38 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っていますが、これらのサービスをご存じですか。（サービスごとに1つずつ）

	サービス名	サービスの内容	知っている	知らない
居宅サービス	訪問介護	入浴、排泄、食事などの身体介護や調理、掃除などの生活援助	1	2
	訪問看護	看護師等の訪問による療養上の世話や診療の補助	1	2
	訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士等が居宅を訪問して行うリハビリテーション	1	2
	訪問入浴介護	居宅を訪問し、浴槽を提供して行う入浴介護	1	2
	居宅療養管理指導	医師や看護師、歯科医師、管理栄養士等が訪問して行う療養上の管理指導	1	2
	通所介護 (デイサービス)	通所介護施設等で食事、入浴など日常生活の支援や生活行為向上のための支援	1	2
	通所リハビリテーション (デイケア)	通所介護施設等で食事、入浴など日常生活の支援や生活行為向上のためのリハビリテーション	1	2
	短期入所生活介護 (ショートステイ)	特別養護老人ホーム等への短期間入所	1	2
	短期入所療養介護 (ショートステイ)	老人保健施設等への短期間入所	1	2
	特定施設入居者生活介護	介護付き有料老人ホーム等に入居し、食事、入浴、排泄等に関わる介護やリハビリテーション	1	2
	福祉用具の貸与	車いす等の貸出し	1	2
	特定福祉用具購入	入浴や排泄等に使用する福祉用具の販売	1	2
	住宅改修費の支給	手すりやスロープなど、住宅の小規模な改修費の支給	1	2
施設サービス	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	常時介護を必要とする方が入居し、食事、入浴、排泄等の日常生活上の支援や介護を受ける施設	1	2
	介護老人保健施設 (老人保健施設)	看護・介護・療養等の専門的なサービスや日常的なサービスを提供し、機能回復を目指す施設	1	2
	介護療養型医療施設	急性期の治療を終え、長期の療養を必要とする方が入所する長期療養施設	1	2



調査 市民一般調査票（案）

サービス名		サービスの内容	知っている	知らない
地域密着型サービス	夜間対応型訪問介護	夜間において、定期巡回の訪問介護、随時の訪問介護、通報によるオペレーションサービスを組み合わせて行うサービス	1	2
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	日中・夜間を通じて、定期巡回と利用者からの通報により随時対応する訪問介護と訪問看護を組み合わせて 24 時間サービスを提供する	1	2
	小規模多機能型居宅介護	「通い」を中心として、要介護者の状態から、随時「訪問」や「泊り」を組み合わせたサービスを提供する	1	2
	看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護及び訪問看護を一体的に行うサービス	1	2
	地域密着型通所介護	定員 18 人以下の小規模な通所介護	1	2
	認知症対応型通所介護	認知症の居宅要介護者を対象とした通所介護サービスを提供する	1	2
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域の中で中程度の認知症高齢者が少数の家庭的な環境の中で暮らす介護を提供する	1	2
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	入居定員 29 人以下の小規模な特別養護老人ホーム	1	2

要支援・要介護状態になっても、できる限り住みなれた地域での生活が継続できるよう、身近な地域で提供されるサービスのことです。市町村が事業者の指定や監督を行うとともに、その利用者はその市町村に居住する住民に限定されます。

問 39 今後、介護が必要になったら、どこで生活したいとお考えですか。（1つに ）

<p>1. 家族などの介護を受けながら自宅で生活したい</p> <p>2. 介護保険居宅サービスを受けながら自宅で生活したい</p> <p>3. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい</p> <p>4. 有料老人ホームに入居したい</p> <p>5. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）に入居したい</p> <p>6. 見守りや生活支援サービスなどのついた高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅）に入居したい</p> <p>7. 自宅近くでさまざまなサービスが受けられる小さな施設（小規模多機能型居宅介護）などを利用しながら生活したい</p> <p>8. その他（具体的に： _____）</p> <p>9. わからない</p>
---

問 40 「介護保険制度」全体をよりよくするために、市が力を入れるべきことは次のうちどれですか。（3つまでに）

1. サービス事業者の質を高めること
2. ケアマネジャー（介護支援専門員）やホームヘルパーなどの人材を育成すること
3. 府中市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと
4. サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと
5. 介護支援ボランティアポイント制度 などの新しい仕組みを考えること
6. 住民が中心となって介護予防やサービス提供の取り組みを推進すること
7. 介護保険についての市民向けの勉強会などを実施すること
8. 健康寿命を伸ばすために、介護予防のサービスに力を入れること
9. 高齢期に住み続けられる、住まいの施策を充実すること
10. 地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行うこと
11. 身近な地域で介護保険サービスが受けられる拠点（地域密着型サービス）を増やすこと
12. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと
13. 家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること
14. 地域包括支援センターの機能を充実すること
15. 介護保険サービスをカバーする府中市の高齢者保健福祉サービスを充実すること
16. その他（具体的に： ）
17. わからない

介護支援ボランティア活動の実績に応じてポイントを交付するなどして、高齢者が活動を通じて社会参加・地域貢献を行うとともに、自らの健康増進も図ることを支援する仕組みです。

### 【高齢者の権利擁護についておたずねします】

問 41 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として、以下のようなものがありますが、あなたがお存じのものはありますか。（いくつでも）

- |                            |                              |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. 成年後見制度 <sup>1</sup>     | 7. 社会福祉協議会                   |
| 2. 日常生活自立支援事業 <sup>2</sup> | (ふれあい福祉相談室など)                |
| 3. 地域包括支援センター              | 8. 権利擁護センターふちゅう <sup>3</sup> |
| 4. 高齢者見守りネットワーク(危機去れシステム)  | 9. 消費生活相談室                   |
| 5. 高齢者虐待防止法                | 10. 担当のケアマネジャー               |
| 6. 市の相談窓口                  | 11. 知っているものはない               |

1: 認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない方について、本人の権利を守る援助者（「成年後見人」等）を選ぶことで、本人を法律的に支援する制度です。

2: 府中市内で生活されている方で、物忘れなどの認知症の症状や知的障害、精神障害などによって、必要な福祉サービスを、自分の判断で適切に選択・利用することが難しい方が利用できる事業です。

3: 認知症や疾病などにより物事の判断において誰かの手助けを必要とされている方、また福祉等における日常生活課題をかかえられている方に対して、自分らしく安心して地域で暮らしていけるよう支援していくセンターです。

問 42 あなたの周り(あなたご本人も含む)に、下の枠内のようなことでお困りと思われる方はいますか。(いくつでも )

(例)

- ・金銭管理ができない
- ・福祉サービスの利用に対する苦情が言えない
- ・悪質商法にだまされた
- ・土地の権利書など重要書類の管理ができない
- ・行政や金融機関などへの窓口手続きができない

- |           |        |         |                   |
|-----------|--------|---------|-------------------|
| 1. あなたご本人 | 3. 子ども | 5. 知 人  | 7. その他(具体的に: )    |
| 2. 配偶者    | 4. 親族  | 6. 近隣の人 | 8. いない( 問 43 へ進む) |

(問 42 で「1」～「7」のいずれかをお答えの方におたずねします)

問 42-1 それはどのような事例ですか。(いくつでも )

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 金銭管理ができない             |
| 2. 悪質商法にだまされた            |
| 3. 行政や金融機関などへの窓口手続きができない |
| 4. 福祉サービスの利用に対する苦情が言えない  |
| 5. 土地の権利書など重要書類の管理ができない  |
| 6. その他(具体的に: )           |

問 43 最後に、市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、ご意見・要望等がございましたら、ご自由にお書きください。


調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、 月 日 ( ) までにお近くのポストに投函してください。